

(様式第 1 号) (第 9 条関係)

事業基本計画書

2025年 9月 10日

長野県知事 様

住 所 愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60番地9
氏 名 大和ハウス工業株式会社 中部支社
執行役員支社長 石野 信治

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第 9 条第 1 項（第21条第 3 項、第27条及び附則第 6 項において準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

太陽光発電施設の設置の場所		下伊那郡阿南町字北條2469番1
事業区域の位置及び面積		4, 311. 69㎡
太陽光発電電力施設の合計出力		375kW (太陽電池の合計出力503. 1kW)
太陽光 発電事 業の内 容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	■売電 □自家消費 設備ID (非FIT案件になります。)
	設置工事着手予定日	2026年3月1日
	設置工事完了予定日	2026年6月1日
	運転開始予定日	2026年6月1日
	施設撤去予定日	2056年7月31日
太陽光発電施設の設置に関する計画		太陽光発電施設設置計画書参照
太陽光発電施設の構造に関する事項		地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン等を参照の上、強度計算を行い、架台について風雪に耐えられる強固なものとする。
景観の保全のための措置の検討に関する事項		景観の保全のための措置の検討状況書参照
環境の保全のための措置の検討に関する事項 ※（環境配慮区域に太陽光発電施設に設置する場合に限る。）		環境配慮区域外のため該当はございません。
維持管理計画に関する事項		維持管理計画参照

関係市町村長及び関係住民の 範囲並びにその根拠	範 囲	中谷区
	根 拠	阿南町役場建設環境課に確認
事業基本計画説明会の開催の 日時及び場所	日 時	2025年9月28日（日） 15：00～17：00
	場 所	中谷公会堂 下伊那郡阿南町北條2546
意見の提出先	①郵送先 〒453-8570 名古屋市中村区平池町4丁目60番地9 大和ハウス工業株式会社 中部支社 名古屋環境エネルギー事業部 加藤 宛 ②E-mail m286868@daiwahouse.jp	
土地の権原の取得予定	地上権設定契約の締結予定	
地域社会に資する事項	別途協議	
備考	連絡先 中部支社 名古屋環境エネルギー事業部 加藤 義人 （電話番号）052-414-5710 （FAX番号）052-414-5713 （電子メールアドレス）m286868@daiwahouse.jp	

注1 該当する□内に△印を記入すること

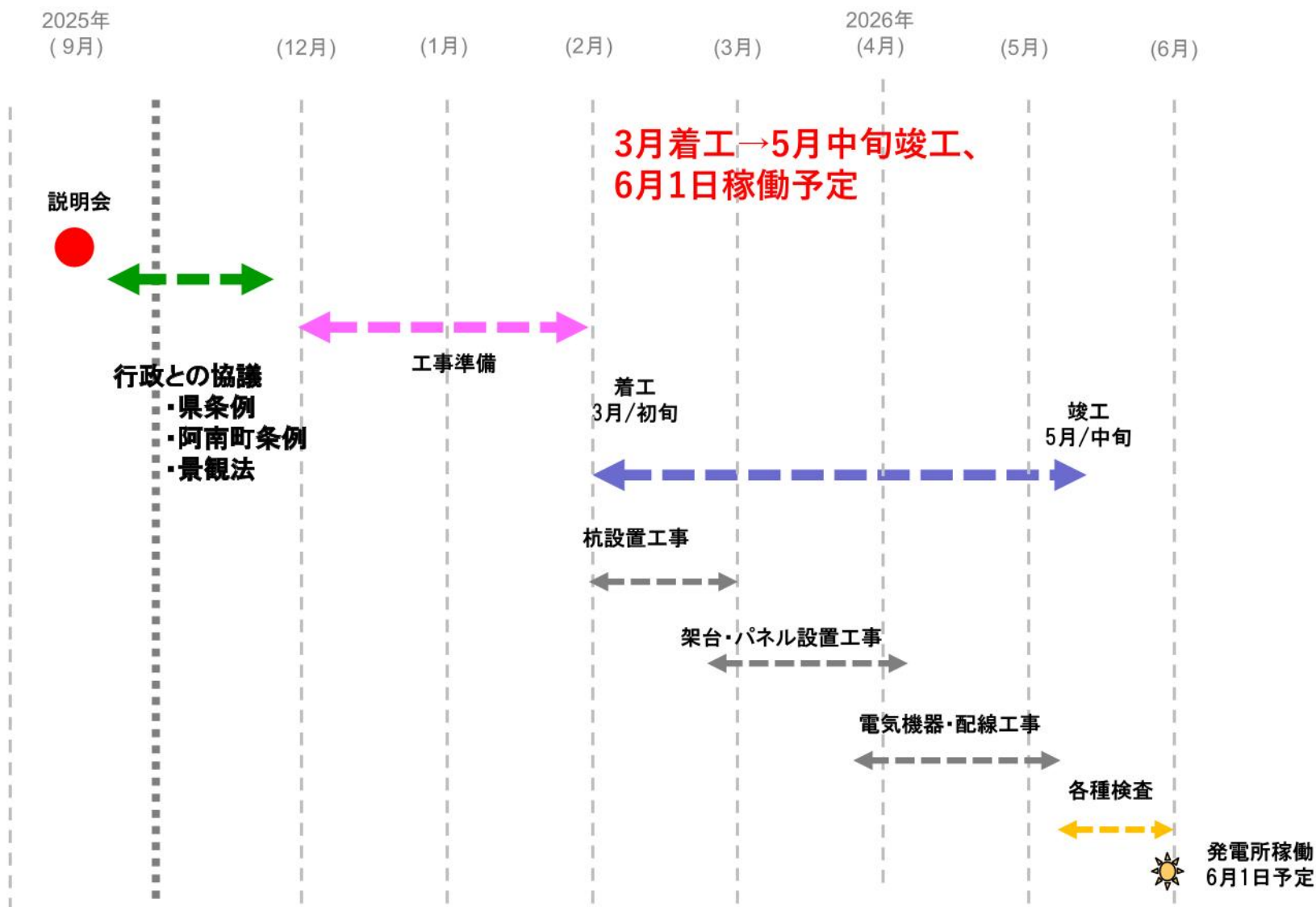
- 2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、提出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。
- 3 「事業区域の位置及び面積」欄には、小数第1位まで記載すること。
- 4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。
- 5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。
- 6 「備考」欄には、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

(参考様式) (第9条関係)

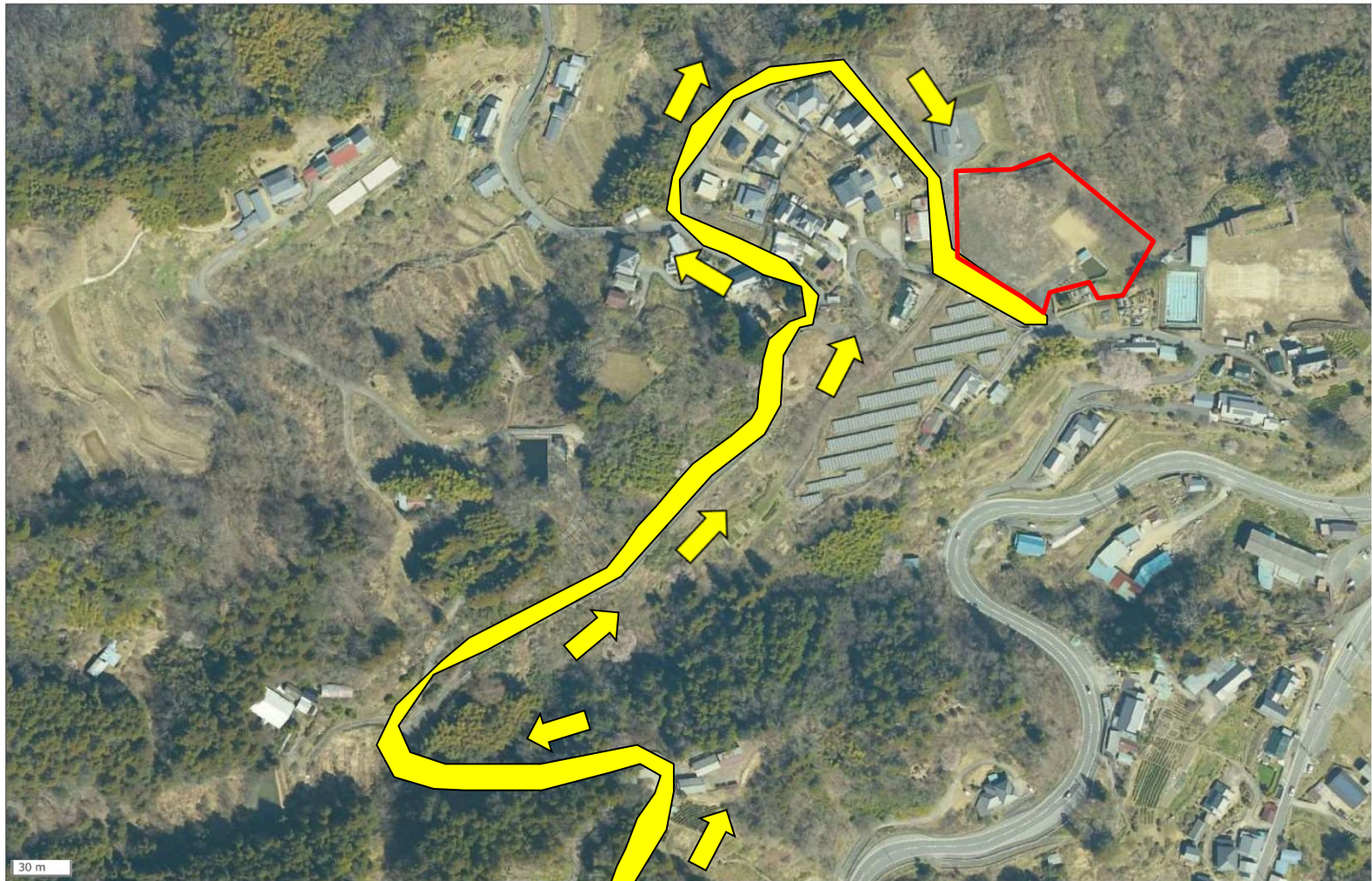
太陽光発電施設設置計画書

防災対策等設置施設	☐ 調整池 ☐ 沈砂池 ☒ 排水設備 ☐ 擁壁 ☐ 管理用道路 ☐ その他（ ）		
特定区域の該当 ※該当するものは事業区域図に明示すること	☐ 地域森林計画対象民有林 ☒ 地すべり防止区域 ☐ 急傾斜地崩壊危険区域 ☐ 土砂災害特別警戒区域 ☐ 砂防指定地 ☐ 該当なし		
環境配慮区域の該当 ※50 キロワット以上の事業に限る ※該当するものは事業区域図に明示すること	☐ 国有林・地域森林計画対象民有林 ☐ 国立公園・国定公園・長野県立自然公園 ☐ 長野県自然環境保全地域 ☐ 郷土環境保全地域 ☐ 水道水源保全地区 ☐ 水資源保全地域 ☐ 希少野生動植物の生息地等保護区 ☐ 鳥獣保護区 ☒ 該当なし		
工程表	別紙の通り		
工事車両の運行計画	想定される台数（延べ）（予定）364 台 91 日×4 台 運行時間 8：00～17：00 経路 搬入経路図参照		
造成工事	盛土の有無	有 ・ ☐	想定盛土量 m ³
	切土の有無	有 ・ ☐	想定切土量 m ³
	事業区域外からの搬入量		— m ³
	事業区域からの搬入量		— m ³
排水処理設備の有無	有 ・ ☐		
	排出経路	敷地内及び隣接の法定外水路	
送電設備	☐ 鉄塔 ☒ 電柱 ☐ 地下埋設		

事業に関する工程（スケジュール予定/概要）



地理院地図
GSI Maps



出典: 国土地理院航空写真
※国土地理院航空写真を加工して作成

搬入路について
上図の黄色のルートでの搬入を予定しております。

(参考様式) (第7条関係)

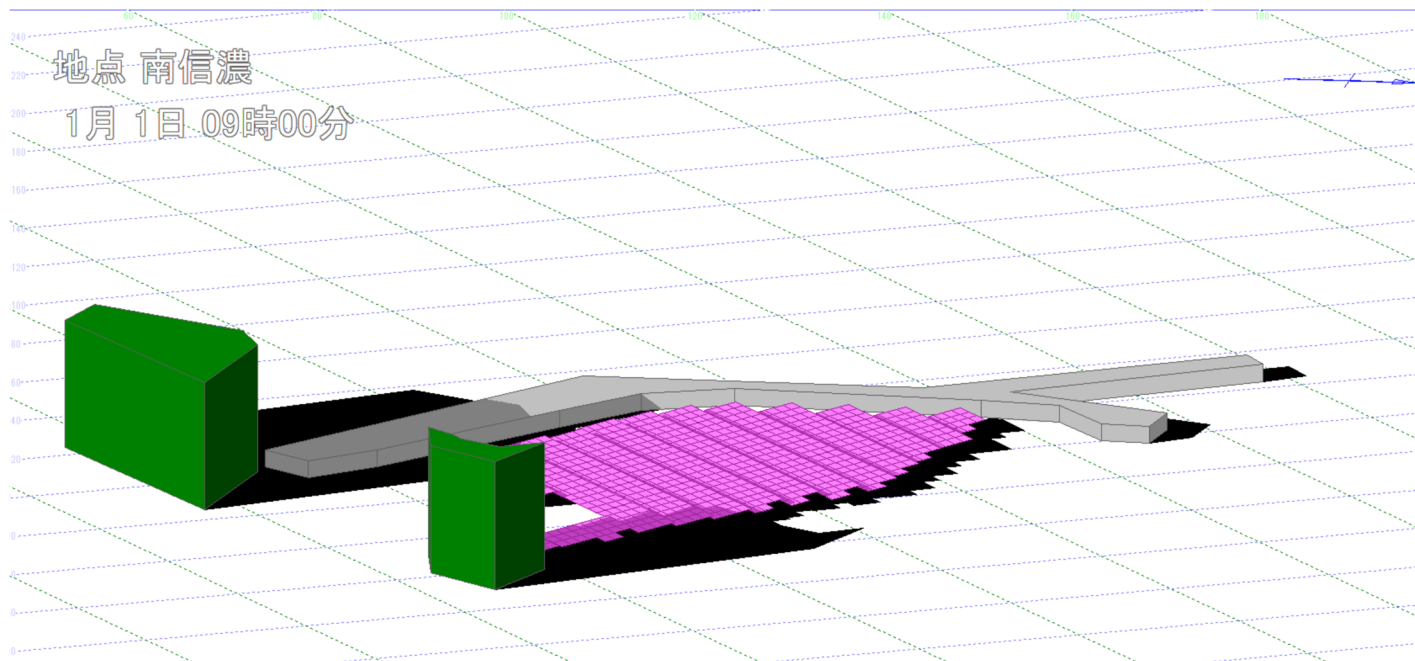
景観の保全のための措置の検討状況書

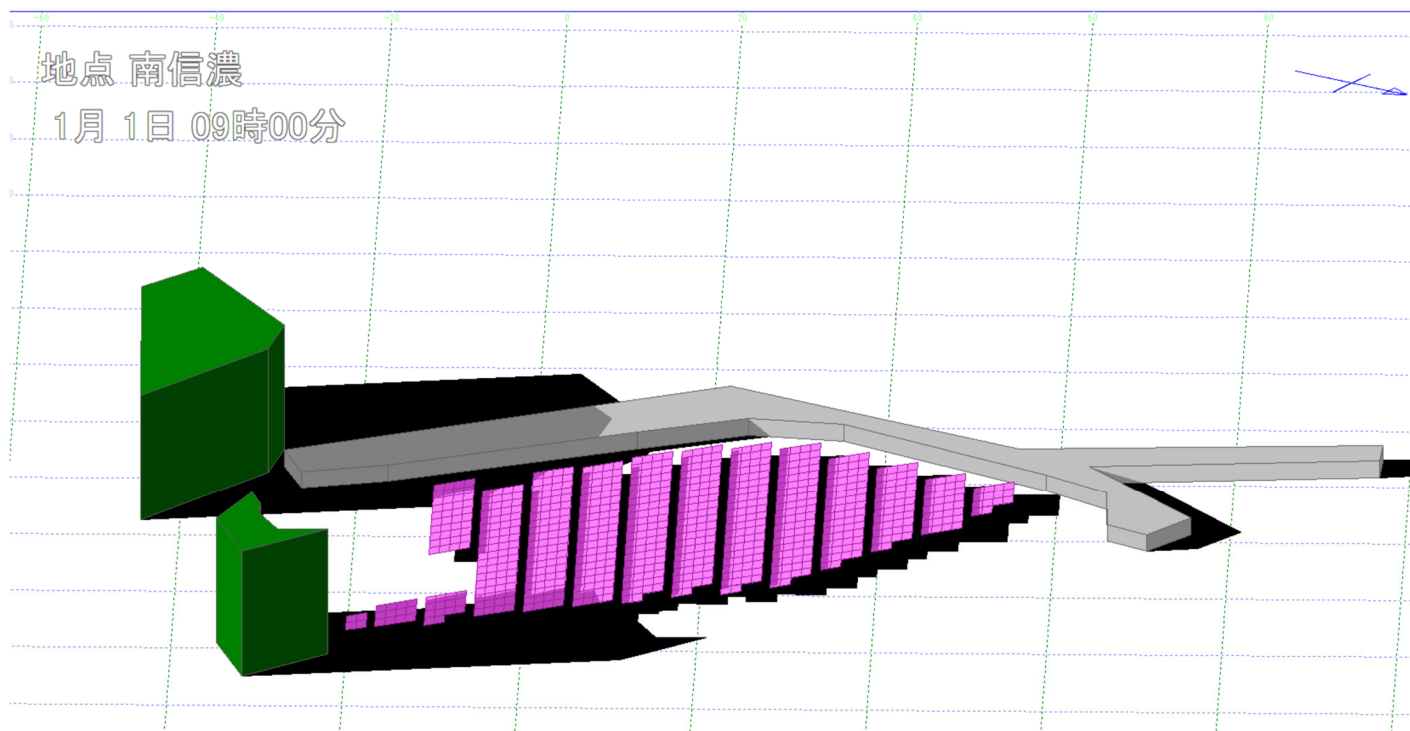
項 目		検 討 事 項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	設置計画地は、周囲から見通せる場所ではございません。また、樹木の伐採は一部及び隣接地からの枝葉の越境部分のみとし、必要最小限にとしました。また、土地の造成等は行いません。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	完成予想図を作成し、添付いたしました。
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	道路、隣接境界から太陽光モジュールを離して配置しております。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	敷地状況に合わせパネル配置を計画しました。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	垂直積雪量を基に施設の高さは設計しています。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	道路面から下がった位置に設置するため眺望に影響ないと考えております。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に合った架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	垂直積雪50cm、設計基準風速30m/s地域に準じた架台を選定していきます。モジュールの向きや傾斜は全て同じで計画しております。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	道路面から下がった位置に設置するため整合は問題ないと考えます。

		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	道路面より設置面が下がっておりますのでモジュール裏面は見えにくい状況になります
--	--	-----------------------------------	---

項 目		検 討 事 項		配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		前面ガラス面には、低反射コーティングがされております。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		黒、濃紺を基本としています。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	主要道路及び隣接地への反射の影響が少ないと判断したため、対策不要と判断しました。
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	同系色は対応できない為、なるべく目立たない色を選定しております。
附帯施設・ 附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		ブラウンを想定しております。
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。		必要最小限の本数にしております。
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		地域の景観を損ねない計画としました。
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		植栽の実施はありません。
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		植栽の実施はありません。
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		道路面と設置面とは高低差が有り、住宅地は設置面の北側の為、反射光の影響は少ないと考えます。
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		施設及び敷地内は、3か月ごとに電氣的な点検及び草刈りを実施の上景観の保守に努めます。
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。		適合する内容としております。

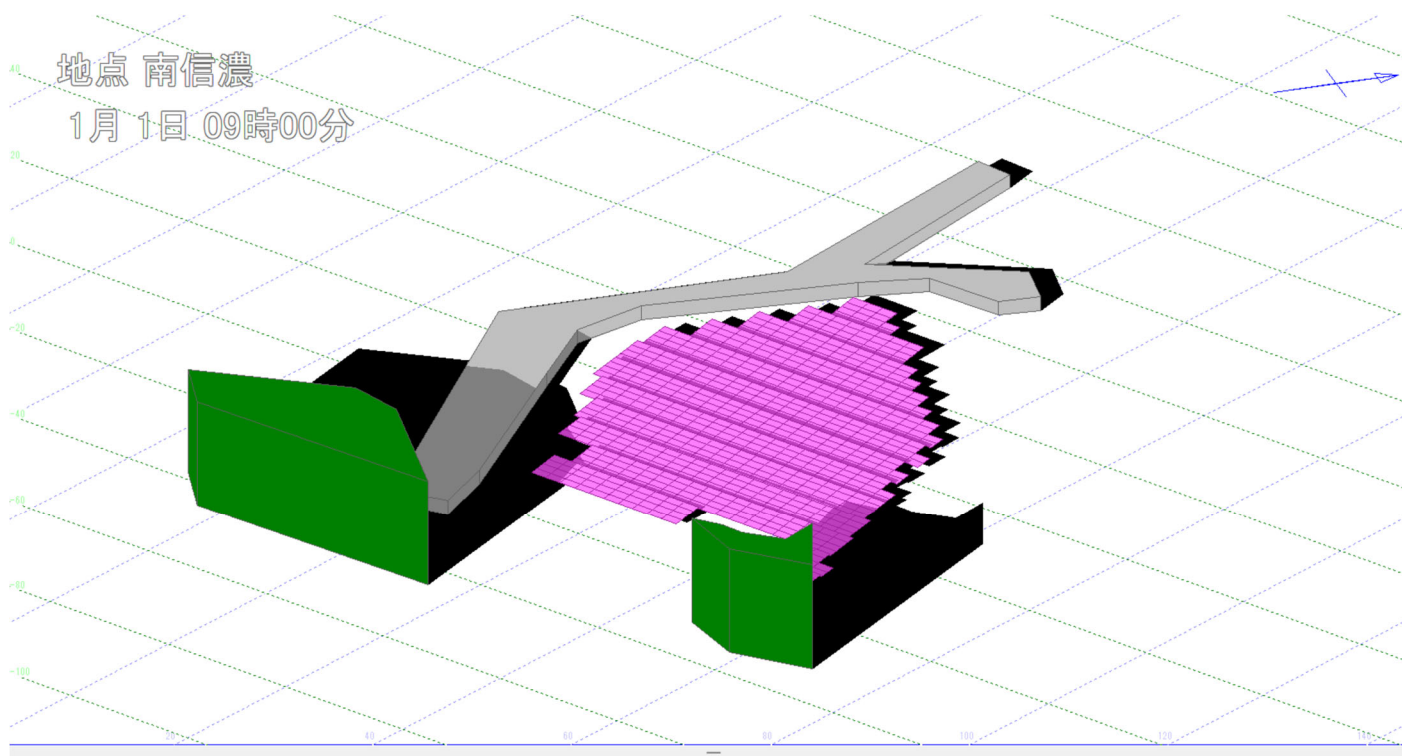
上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。





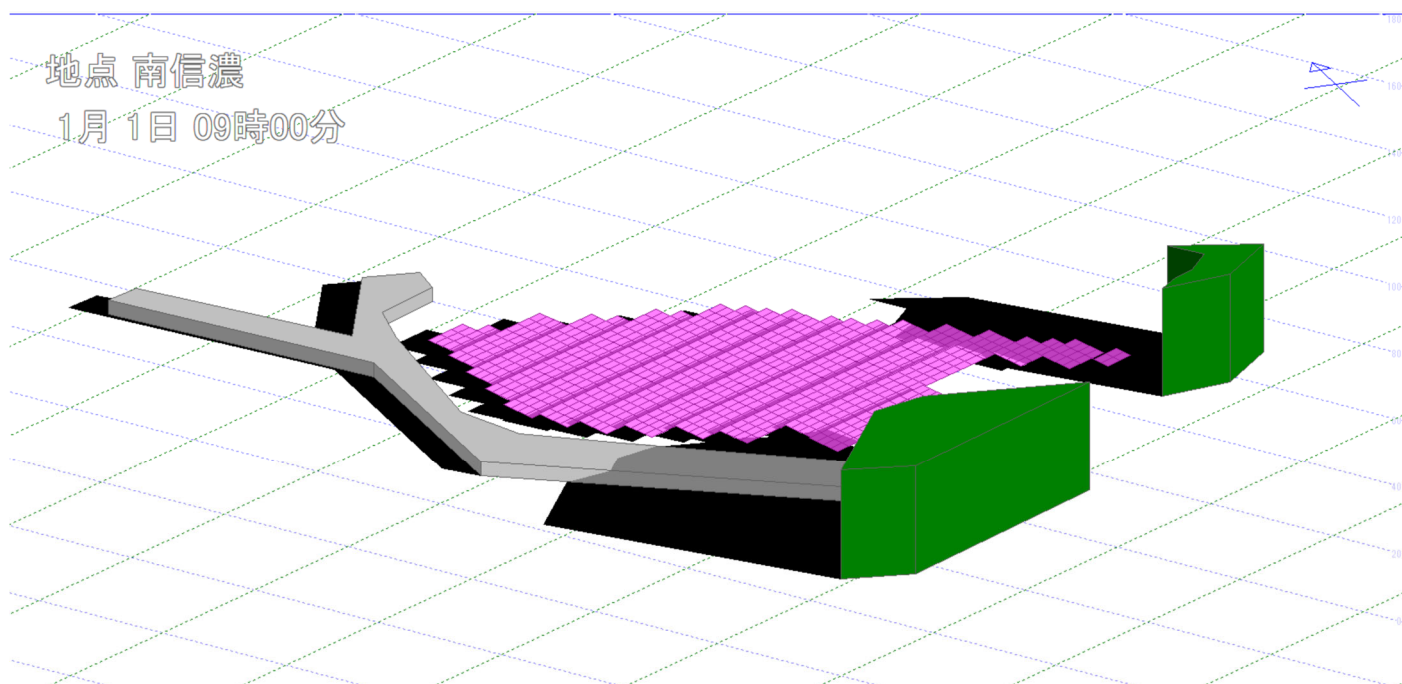
地点 南信濃

1月 1日 09時00分



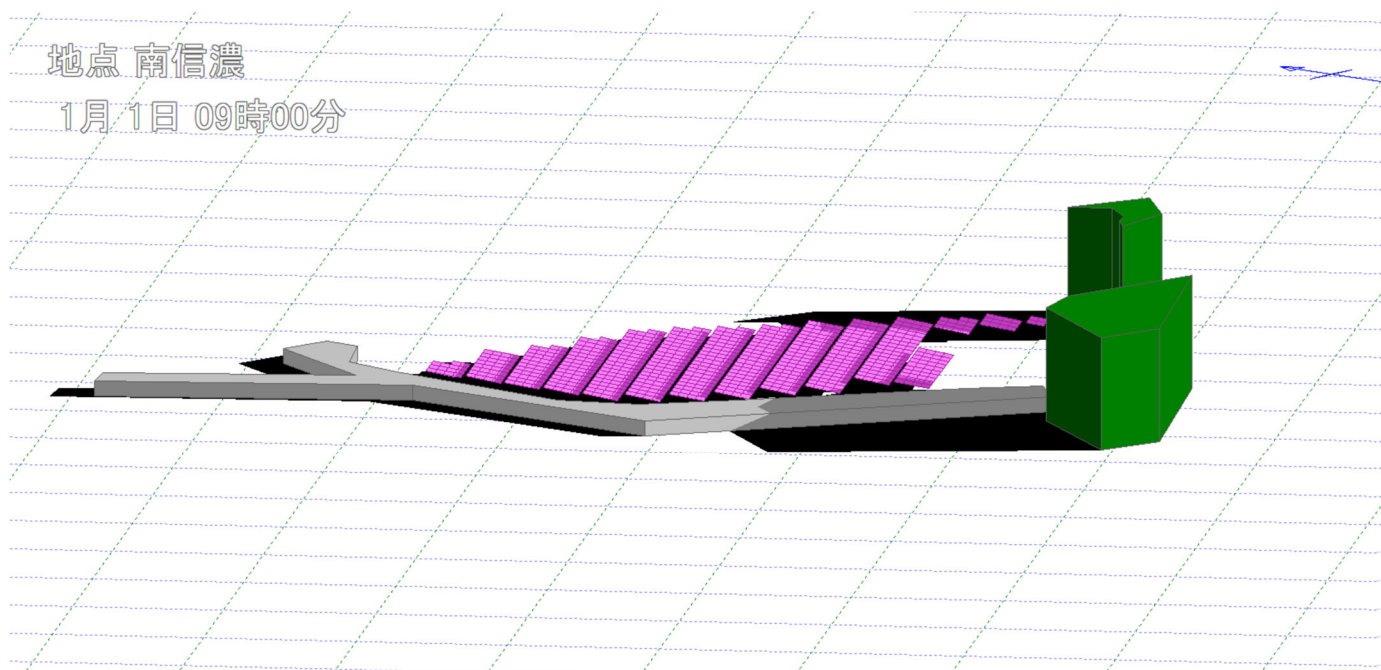
地点 南信濃

1月 1日 09時00分



地点 南信濃

1月1日 09時00分



(参考様式) (第 19 条関係)

維 持 管 理 計 画

作成日

2025 年 9 月 4 日

太陽光発電施設の設置場所	下伊那郡阿南町字北條 2469 番 1	
事業者名（法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名）	名古屋市中村区平池町 4 丁目 60 番地 9 大和ハウス工業株式会社 中部支社 執行役員支社長 石野 信治	
保守点検責任者	氏名及び住所	同上
	電話番号	052-414-5710
合計出力	375 kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日（事業終了予定日）	2056 年 7 月 31 日	
損害保険の加入状況	☒ 有 ☐ 無 (保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応)	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	太陽光発電施設の処分は、廃棄物処理業者へ依頼します。	
維持管理計画及び状況の公表方法	閲覧希望者への掲示	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

＜太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容＞

保守点検項目に従い巡視を実施し、状況により電源遮断を検討します。

＜土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容＞

事故・災害が発生した場合には、迅速に状況を把握し、関係機関（経済産業省、県、町）に連絡をします。土砂の流出やパネルの飛散など周辺環境に影響を及ぼした場合は、速やかに撤去し、二次災害が起きないように対策を講じます

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☑	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年1回	
			端子箱に破損、変形がないか		年1回	
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。		年1回	
	☑	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		年1回	
	☑	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。		年1回	
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		年1回	
	☑	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。		年1回	
	☑	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。		年1回	
			接続部に緩み、破損がない。		年1回	
	☑	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。		年1回	
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。		年1回	
			積雪による沈降、不等沈降、地盤腐食等などの影響がない。		年1回	
			ボルト、ナットの緩みがない。		年1回	
			固定強度に不足の懸念がない。		年1回	
接続箱	☑	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。		年1回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年1回	
			雨水、じんあい等の侵入がない。		年1回	
漏電遮断	☑	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。		年1回	
	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。		年1回	
パワーコンディショナー	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。		年1回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年1回	
			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		年1回	
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		年1回	
	☑	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。		年1回	

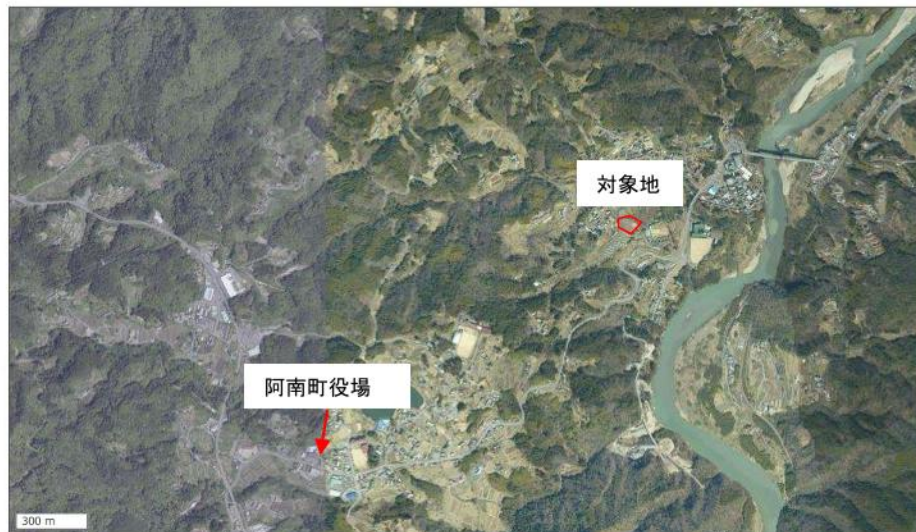
附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	☐	切土法面	小段の沈下がない。	目視		
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	☐	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			
			水抜き穴につまりがない。			
			水抜き穴から異常な土砂流出がない。			
			地山に変形がない。			
排水設備	☒	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。		年1回	
			亀裂、ずれがない。		年1回	
			破損がない。		年1回	
			排水設備外への漏水がない。		年1回	
調整池	☐	堤体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			
			草木の繁茂がない。			
	☐	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。			
	☐	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			

			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。			
	☐	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。			
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			油等の浮遊がない。			
	☐	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。			
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。			
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。			
			油等の浮遊がない。			
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。			
防護柵、塀	☒	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。		年1回	
	☒	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。		年1回	
	☒	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。		年1回	
進 入 路 ・ 管 理 道	☒	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年1回	
			事業地周辺への土砂の流出がない。		年1回	
			雨水等による洗掘がない。		年1回	
			草木の繁茂がない。		年1回	
設置地盤	☐	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。			
			段差、傾斜がない。			
			空洞の発生（土砂の流出）がない。			
			隆起の発生がない。			
設置地盤	☒	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年1回	
			事業地周辺への土砂の流出がない。		年1回	
			雨水等による洗掘がない。		年1回	
			草木の繁茂がない。		年1回	

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加・修正してください。

位置図



出典：国土地理院航空写真
※国土地理院航空写真を加工して作成

地理院地図
GSI Maps



地理院地図
GSI Maps



出典:「国土地理院地図 航空写真」加工して作成

地すべり防止区域に該当します



出典:「信州くらしのマップ」防災マップを加工して作成



①



②



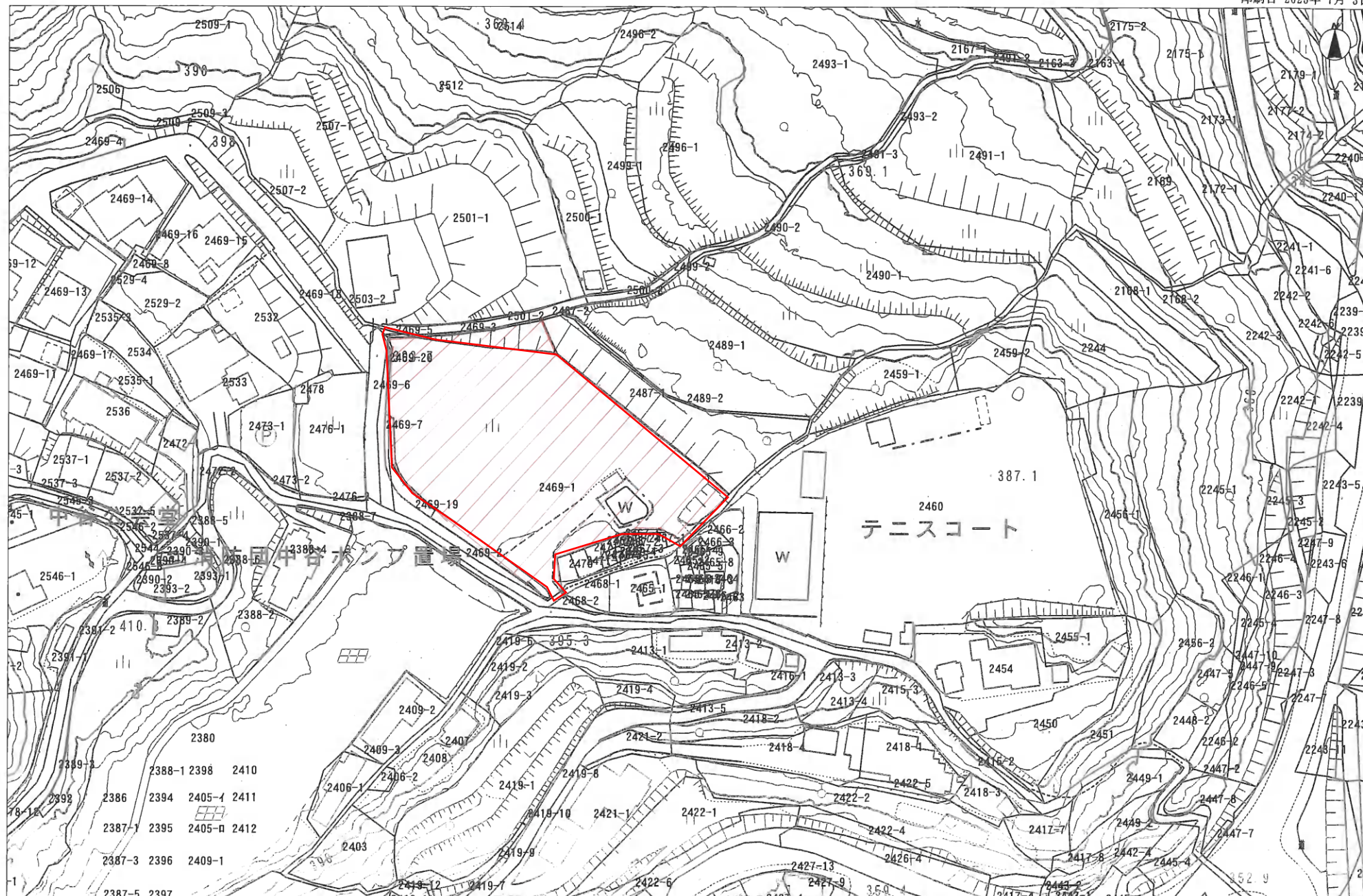
③

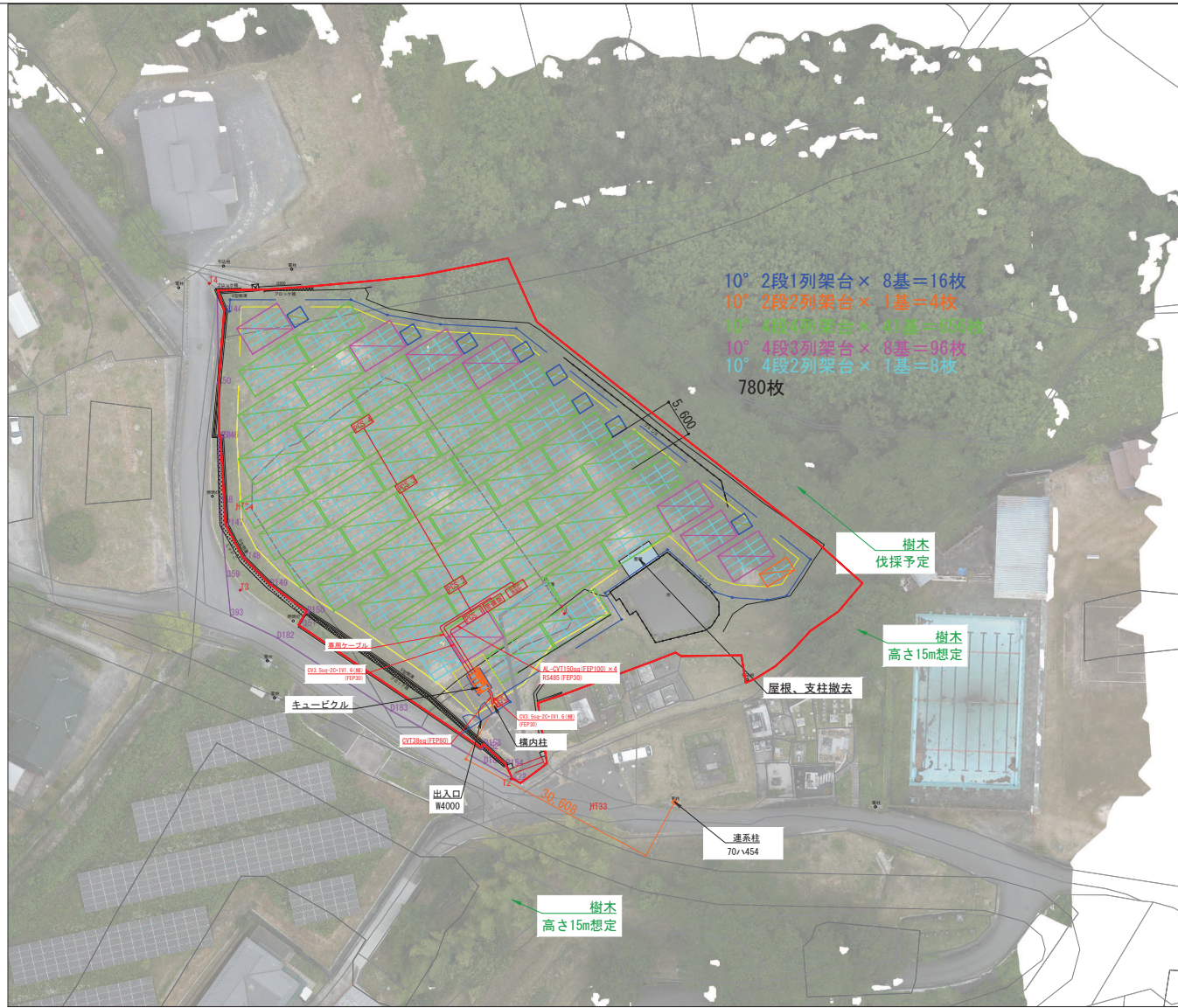
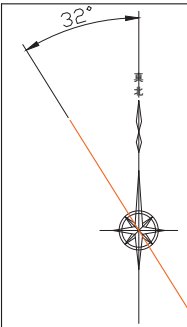


④

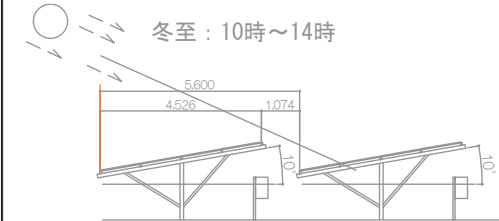
撮影:2024年11月26日

事業区域図





架台イメージ図



	PCS出力(kW)	連列数	並列数	並列数	並列数	パネル枚数	パネル容量(kW)	DC容量(kW)
PCS1	93.8	16	9	17	3	195	0.645	125.775
PCS2	93.8	16	9	17	3	195	0.645	125.775
PCS3	93.7	16	9	17	3	195	0.645	125.775
PCS4	93.7	16	9	17	3	195	0.645	125.775
合計	375					780		503.1

オフサイトPPA/全量売電		Daiwa House.
モジュール容量	503.1kW	
システム容量	375.0kW	
トランス容量	500.0kVA	大和ハウス工業株式会社 中部支社 名古屋環境エネルギー事業部 第一営業所
施工場所	長野県下伊那郡阿南町字北條2469番1 経度：137° 49' 48" 緯度：35° 19' 55"	記事
敷地面積	4,311.0㎡(測量/標本)	改訂 説明
地表面粗度区分	Ⅲ(指定なし)	
垂直積雪量	50 cm(JIS/特定行政庁)	
設計基準風速	30 m/s	
塩害対策	無	
アレイ傾斜角度	10°	
アレイピッチ(杭間)	約5600mm	
アレイ方位角度	32°(反時計廻り)	
アレイ下端	GL+1,000~1,200	
力率一定制御	力率90%一定制御	
■モジュール仕様(両面)		
型式(メーカー)	JKM645N-66HL4M-BDV (ジンコンソーラー)	
公称最大出力/公差	645W(0~+3%)	
公称最大出力動作電圧	41.44V	
公称最大出力動作電流	15.57A	
公称解放電圧/公差	50.08V±5%	法適合確認書
短絡電流/公差	16.38A±5%	[設備関係規定に適合する]
外形寸法/質量	2382×1134×30mm/32.4kg	
■システム構成		管理建築士
モジュール設置枚数	合計：780枚 SUN2000-111KTL-NHMO(ファウエイ)	承認
パワーコンディショナ	111.1kW(125KVA)×4台=375kW 出力抑制	照査
トランス容量	500kVA(500kVA×1) PCS：125kVA×(4台×1)	代表となる設計者
回路構成	図中参照	その他の設計者
動作電圧	704.48V(41.44V×17直列)	設計補助者
解放電圧	851.36V(50.08V×17直列)	
動作電流	31.14A(15.57A×2)/回路	工事番号
短絡電流	34.40A(16.38A×1.05×2)/回路	
■配線方法	露出配管(アルミケーブル)	工事名称
■架台・基礎	図中参照	DREAM Solar 長野下伊那北條2469-1 太陽光発電設備設置工事
基礎	架台：図中参照 PCS他架台：12本	配置計画図
■防草対策		
防草シート	(無)・有	発行日 25/09/04
砕石敷	(無)・有	
■フェンス・ゲート・その他		図面名称
フェンス	図中記載(H=1500) 忍び返し無し	
出入口扉	両開：W=4000×1 片開：W=1000×0 色：ブラウン 吊戸式・フランク ス落とし・開口部付き	配置計画図
	(無)・有	
遠隔監視	無・(有)	縮尺(A3) 1:700
日射計・気温計	無・(有)	
監視カメラ(防炎仕様)	無・(有)	図面番号
■防犯対策		
アルミケーブル	無・(有)	EA-06
防犯システム(標準)	無・(有)	
防犯システム(AIカメラ)	(無)・有	
※※※※	(無)・有	
■特記事項		
・発電電力の連系可否は、電力会社との協議によります。		
・機器詳細検討及び条件変更により、モジュール枚数に変更になる場合があります。		
・地盤調査後、基礎仕様に変更になる場合があります。		
工事担当者	営業担当者	
	加藤 義人	